



# 慶應義塾大学出版会 新刊案内

2018

11月



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



または



世界を読み解く一冊の本

クルアーン 神の言葉を誰が聞くのか



大川玲子 (明治学院大学国際学部教授) [著]

ココに注目!

- ・シリーズ「世界を読み解く一冊の本」、第2弾!
- ・クルアーンをムスリムと非ムスリム、双方の視点から読み解く。

極めて難解とされるイスラームの聖典『クルアーン』。では、どう読めば良いのか? 本書では、聖典を読むことの困難さと楽しさを、丁寧に解説。信徒以外には分かりにくい点 (独自性)、それでも分かりあえる点 (普遍性) の双方を示し、『クルアーン』という書物の意義を、改めて明らかにしていく。

本体予価 **2,200 円** 四六判上製 / 224 頁

ISBN 978-4-7664-2555-0 C0300

対象: 一般 (『本の本』ジャンルに興味のある層)、

中東・イスラームの研究者

部数: ★★★★★

配本予定: 11 月中旬



シリーズを通じては…

「100 分 de 名著」シリーズ (NHK 出版)

本書だけでは…「クルアーン入門」(作品社)

## 【目次】

- |  |  |
|--|--|
| <p>序 この聖典は誰のもの?<br/>生きている書物<br/>誰がクルアーンを読むのか<br/>——読者のタイプの六分類<br/>本書のめざすこと</p> <p>I 「作者」は神か人か?<br/>1 「作者」をめぐる<br/>——ムスリムと非ムスリムの間<br/>2 議論を生む書物としての成立と展開<br/>3 異文化との邂逅——翻訳と受容</p> | <p>II 生の言葉による「説得」<br/>1 生(なま)の言葉が訴えること<br/>2 「神の言葉」が開いたもの</p> <p>III 「説得」から「共有」へ<br/>——二元論を超えて<br/>1 「説得」のための時間軸<br/>2 今なお解釈される書物として<br/>3 見るクルアーン、聞くクルアーン</p> |
|--|--|

# 自治体行動の政治経済学

## 地方財政制度と政府間関係のダイナミズム

宮崎雅人（埼玉大学大学院人文社会科学研究所准教授）[著]

### 🔍 ココに注目！

- なぜ地方自治体は中央の狙いどおりに動かないのか。
- 地域活性化に向けた政策提言の書。

戦後日本の地方財政政策のターニングポイントを辿りながら、中央政府の政策誘導の成功/失敗や、いわゆる自治体間の“横並び”政策の歴史的起源を分析することで自治体行動のメカニズムを検証。地方財政構造や自治体行動の特質を明らかにし、地域活性化に向けた政策提言を行う。

本体予価 **3,000 円** A5 判上製 / 192 頁

ISBN 978-4-7664-2571-0 C3033

対象：財政学（特に地方財政）を専攻する研究者、学生

部数：★★

配本予定：11 月下旬

📖 類書 沼尾波子「地方財政を学ぶ」（有斐閣）